第 2014-26 号

恵みと真理のニュース

2014 年 6 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

世から得られない救いの喜びと仕える喜びを与えてくださった神様に感謝と賛美を捧げます。

私は子供の頃から母が熱心に偶像崇拝をする姿を見ながら育ちました。子供である私が見るにも偶像崇拝する行為はおかしくてとても嫌いでした。私は大人になると偶像崇拝をしなくてイエス様を信じよう決心しました。結婚しても母に劣らず舅姑も偶像崇拝をしました。そのような環境なので教会には行く勇気がなかったです。結婚してから１年がたっても子供ができなくて心配する時に妊娠のしるしがあって病院に急いでいきました。子を宿した喜ばしい報せがありましたが胎児の姿が見えないと心配の話を聞きました。大きい病院で“子宮外妊娠”だと診断されました。医師は破裂の危険があるのですぐ入院して手術を受けるように言いました。正確な原因は分からないが一つの 卵管に異常があるようだとしました。急がなければならないと言う医師に“一旦家に帰って明日また来て入院する”と言い家に帰って来て祈りました。
“神様、本当に神様がいらっしゃるならば私を助けてください。子供と私を守ってください。”夜すがら涙を流しながら祈りました。朝になると心が平安になり手術が良くなると信じました。そしてすぐ病院に行き入院して手術を受けました。
怖れることなく破裂になる前に完全に手術が終わりました。娘を産み私の体もすぐ健康に回復されきれいな娘を抱いて退院しました。まだ知らない神様ですが私の祈りを聞いてくださったことを聞きただ感謝を捧げました。当時には知らなかったですが、今は神様が私の魂を救ってくださるようにその時摂理してくださったと思います。神様がその後から私にまた尊い息子と娘をプレゼントでくださいました。長女を産んでまもなく教会に通うようになりました。私が住んでいる家の主人からある日教会のリバイバル会に誘われて行きました。説教を聴いたら初めから最後まで私に対する話だと思いました。恵みと感動を受け涙が出ました。とてもよくて旦那の密かに教会に通い始めました。しかしまもなくこの事を知った舅は酷く怒りました。シャーマニズムに深く嵌っている旦那の家族は特にキリスト教を巨斥し憎みました。“これからまた教会に行くのか？”と舅は膝をまずいている私に叱りながら“もう教会には通いません。”という約束を受けようとしました。“うちの家庭では絶対イエスを信じることはあり得ない”言われました。まだ救いの確信もなく信仰が育つ前でしたので“今は舅の話に従いますが壮語できません。”と答えました。そのような私を神様はイエス様を信じ仕えるように摂理し助けてくださいました。

旦那の職場の問題で見慣れないクンポ市のグンジョンという村に引越ししました。知っている人もなく寂しくて心をおくところがなかったです。教会には行きたかったですが教会を決める事はたやすくなかったです。それで“誰か、教会の伝道の紙でも家に置いたらいいけれど”と思いましたが何日後、嘘のように家の門のすき間へ恵みと真理ニュースがありました。
そして区域長が私を恵みと真理教会で導いてくださいました。旦那の密かに二人の息子を連れて教会に通いながら御言葉と聖霊の恵みで日々信仰が成長しました。区域長を従って教会に通う楽しむが満たされました。生活に喜びと活力が溢れるようにしてくださいました。御言葉を黙想し説教聴く時に主は御言葉の恵みと真理を悟る知恵も与えてくださいました。
“いかに幸いなことか／神に逆らう者の計らいに従って歩まず／罪ある者の道にとどまらず／傲慢な者と共に座らず、 主の教えを愛し／その教えを昼も夜も口ずさむ人。 その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び／葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす。”（詩篇１：１～３）
聖霊の臨在と能力を愛し瀬霊の賜物を求めると聖霊の洗礼を下さり満たしてくださいました。
“だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。 あなたがたの中に、魚を欲しがる子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。 また、卵を欲しがるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」”（ルカによる福音書 11：１０～１３）
ハレルヤ！
私のように足りなくて弱い者を選んで子供にしてくださり新しい命を下さった神様に感謝を捧げます。心に主と主の体である教会をよく仕える希望を下さり、ヨンイン聖殿の教会学校の教師と様々な奉仕の職分を与えられ今日も最善を尽くすように助けてくだる神様に栄光を捧げます。
まだ信じない旦那の迫害も後日に得られる喜びと栄光のため神様が下さる練達だと思い忍耐しながら“二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」”（使徒言行録　１６：３１）という御言葉で希望を喪われないようにしてくださることを感謝します。不信者のためにも福音の伝道者の任務にもっと忠誠します。“ 主が望まれるのは主を畏れる人／主の慈しみを待ち望む人。”（詩篇 147：11）

［信仰コラム］

七つのパラドックス（逆説）

″…誰でも自分を高める者は低くなって誰でも自分を下げる者は高まるものと″(マ23:11、12)

聖書には逆説的な教訓があります。矛盾同じだが、適用すれば、事実で現れる真理の言葉です。成功と幸せを与えてくれる人生の原理です。七つの逆説的教訓をご覧ください。
第一に、貧乏になって、真の富を得ることになる原理です。心霊が貧しい人は自分には仲がないことを知って全面的にイエス・キリストの贖罪によっている義を意志します。またいつも神様の助けることを意志し、切に求めます。そして霊的な知識と恩師を切望いたします。このような人は永遠な天国へ入ることになるだけでなく、この世の中に生きている間、その心霊は真の富を享受するようになります。
第二に、弱いば強くなるという原理です。神様は自ら強いだという人を面倒しないです。自分の弱さを知る者は神様の能力を求めて神様に意志することで強い者を勝つようになります。全ての栄光を神に向けるようになります。
第三に,負ければ勝つようになる原理です。帰郷の道に上がったヤコブがヤプボク渡し場で神様のライオンと格闘するようになりました。ヤコブは彼を必死にしがみついてきながら自分に祝福してくれることを求めました。骨が脱臼された状態でもヤコブはその人を離しませんでした。エサが足をひきずるこのヤコブを見たとき神様がその心に恨みの代わりに哀れな感じてヤコブの首を抱きしめてくちづけて泣きました。ヤコブが恐れて心配した問題が一掃されました。神様の手によっての骨が脱臼された敗北にあうと神様とともに行い、勝つ者がなりました。
第四に、低くなれば高くなる原理です.人たちが高まるとすることを悪くここを理由はありません。しかし、問題はそのアプローチです。自分が高くなるために他の人を踏みにじり、欺瞞と敏腕を使用しなら、例え目的を達成するとしても、それは恥ずべきことに過ぎません。″あなたがたの間に誰でも大きい希望する人は君たちを仕える者がなってあなたがたの間に誰でも最高になろうとする者はあなたのしもべとならなければくれること″とイエスが話しました。低くなって仕える者を神様が高めてくれます。
第五に、死ぬと、命を得る原理です。神がおっしゃるには″誰でも私を付いて来たければ自分を否認して自分の十字架を背負って私を探しものである。″しました。これは神様の意思に反する自分の意思、主張、理論、欲望を決めて死ぬようにするという意味です。このような体に属した自我を十字架に釘を刺しのでよる死に聖霊によった生命力が彼の心にあります。
六つ、くれば豊かになる原理です。自然は私たちにその教訓を与えます。もらってまた返してもらう水の循環を通じて地球上に生命体が生きるようになり、五穀百果を生産するようになって汚れ物を浄化することになります。もちろん無駄遣いしないで貯蓄に取り組むことが十分になる方法でもあります。しかし、実際には適切に分けてくれて施すことがさらに豊かになる秘訣ということを知らなければなりません。″くれとそうすれば君にあげるものであり、これはすなわち手厚くなってあふれるようにしてあなたに抱かれてくれると″とイエスがおっしゃいました。
7 番目で、できないこととできるようになる原理です。神様はモーゼを 40 歳の時まで使わなくて一介の羊飼いとなって 80 歳になったときに彼にそれほど重大な任務を任せました。神様は自分のできないことを知って神様の権能を深く頼る者をお使いになるからです。″私のことができる。″は人ではなく″私に能力くれる者の中で私がすべてのことができる。″(ビル 4:13)は人にならなければなりません。
皆さんはこの原理を生活の中に積極的に適用して実践するので本当の成功と幸せを享受しながら生きて行ってください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

聖徒たちのすばらしい行動

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖徒たちから見られるすばらしい行動は信仰に結び付されています．その信仰と言うのは神様に対する信仰でまた神様の口約束に対する信仰です．ヘブル人への手紙 11 章は旧約時代に暮した信仰の偉人たちに対して集中的に扱っています．今日はこの中に非常に対照的な身分を持った二人に関する記録をよく見ることで見習うのをして教訓を得るようにします．

先に、ヨシュアに対してよく見ます．

ヘブル人への手紙，11:30 節に “信仰によって、エリコの城壁は、七日にわたってまわったために、くずれおちた。と記録されました．モセの後継者ヨシュアはイスラエル子孫たちを導いてヨダンを渡ってガナアン地で進入しました．ヨシュアは民たちに一応ジェリコ平地に帳幕を張るようにしました．これから本格的なガナアン占領のための戦闘するようになるはずなのに初めて攻略するようになる城がジェリコです．ジェリコ城の人々はイスラエル民たちの出エジプト事件と彼らの行路にあった奇妙で驚くべきなことに対して詳しい情報を手に入れていました．そういう軟膏で彼らはイスラエルを攻撃する意慾を出すことができずに城門を固く閉めて守備するのに汲汲していました．ヨシュアがジェリコを陥落させる方途を調べようとジェリコ城に身近に近付いた時でした．彼の前に威風堂々な人が手に刀を持って向い合って立っていました．ヨシュアが彼に進んで **“ヨシュアがエリコの近くにいたとき、目を上げて見ると、ひとりの人が抜き身のつるぎを手に持ち、こちらに向かって立っていたので、ヨシュアはその人のところへ行って言った、「あなたはわれわれを助けるのですか。それともわれわれの敵を助けるのですか」。彼は言った、「いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ」。ヨシュアは地にひれ伏し拝して言った、「わが主は何をしもべに告げようとされるのですか」。すると主の軍勢の将はヨシュアに言った、「あなたの足のくつを脱ぎなさい。あなたが立っている所は聖なる所である」。ヨシュアはそのようにした。”** したらヨシュアがそのまましました．するとエホバの軍勢の将が次のように指示しました．

“主はヨシュアに言われた、「見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたしている。あなたがた、いくさびとはみな、町を巡って、町の周囲を一度回らなければならない。六日の間そのようにしなければならない。七人の祭司たちは、おのおの雄羊の角のラッパを携えて、箱に先立たなければならない。そして七日目には七度町を巡り、祭司たちはラッパを吹き鳴らさなければならない。そして祭司たちが雄羊の角を長く吹き鳴らし、そのラッパの音が、あなたがたに聞える時、民はみな大声に呼ばわり、叫ばなければならない。そうすれば、町の周囲の石がきは、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ることができる」。ヌンの子ヨシュアは祭司たちを召して言った、「あなたがたは契約の箱をかき、七人の祭司たちは雄羊の角のラッパ七本を携えて、主の箱に先立たなければならない」。”．イスラエル民は毎日朝出発して城を一回り回りました．六日の間そのようにしました．七番目の日には彼らが夜明けに早く起きて城を回るが七回回ったし祭司たちがラッパを長く鳴らして 吹き民が大きく叫びました．その瞬間ジェリコ城壁が崩れ落ちました．士気衝天するようになったイスラエル軍事と民が 城に入って行って簡単にその城を占領しました．ジェリコ城の陥落に係わる奇事は信仰で行うことに対して多くの教訓を与えます．ジェリコ城を陥落させるのに必要な要素が三種類です．第一，神様のみ旨を従って行いました．第二，神様が指示した戦術は奇想天外だったがヨシュアは神様の指示に従順しました．第三，民たちがリーダーを信じました．私たちが信仰で行う過程でも乗り越えなければならないことがあります．第一，経験と常識と理性から出る否定的考えを圧しなければなりません．第二，神様の言葉に行き違った否定的な言葉を口の外に出してはいけないです．ヨシュアが民に念をおすのを **“ヨシュアは民に命じて言った、「あなたがたは呼ばわってはならない。あなたがたの声を聞えさせてはならない。また口から言葉を出してはならない。ただ、わたしが呼ばわれと命じる日に、あなたがたは呼ばわらなければならない」。”** 告げました．そしてもう一つよく見ることがあります．ヨシュアがエホバの軍勢の将に “あなたは味方ですか，それとも私たちの敵ですか?” と質問するとその将軍が返事が “私は今エホバの軍勢の将で来たのだ．” と言いました．これは “来たのはどちらの側になろうと来たことではない．あなたが私を願ったらエホバの側に止まりなさい．” という言葉です．“神様，私の側で私を助けてください．” と祈る前に先によく見ることは自分が神様の側に止まっているかと言うのです．

次は、遊女ラハブをよく見ます．

１１：31 節に **“信仰で遊女ラハブは斥候を平安に迎接したので従順しない者と一緒に滅亡しなかった”**と記録されました．ジェリコ城がイスラエル民によって完全に征服されて城の中の人々が皆殺される所で無事に生き残った家族がいました．遊女ラハブの親と兄弟たちの家族でした．イスラエル民がまだヨダン川を渡ることができずにヨダン西側シッディムに陣を張っている時でした．指導者ヨシュアが二人を選抜してジェリコを探るように指示しました．二名の斥候がジェリコに入って行ってある居酒屋に止宿しました．ラハブという名前を持った遊女が運営する居酒屋でした．ところでいつのまにかその斥候に関する報告を受けたジェリコの王が遊女ラハブの家を捜索するように軍事たちを送りました．遊女ラハブは事態の進展をあらかじめ気づいて二人の斥候を連れて屋根にのぼり、屋上に並べてあった亜麻の茎の中に彼らを隠していたのである．ラハブは軍事たちに見知らぬ人々が自分の居酒屋に来たがただいま城の外に出たと言いました．その言葉を聞いた軍事たちが緊急な心に居酒屋を捜索しないで直ちに城の外で走って行くと城門が閉まりました．

ラハブが屋上に上がって斥候たちに懇請しました．“**主がこの地をあなたがたに賜わったこと、わたしたちがあなたがたをひじょうに恐れていること、そしてこの地の民がみなあなたがたの前に震えおののいていることをわたしは知っています。わたしたちはそれを聞くと、心は消え、あなたがたのゆえに人々は全く勇気を失ってしまいました。あなたがたの神、主は上の天にも、下の地にも、神でいらせられるからです。** だから懇請します．私が皆さんに好意を施したから皆さんもなにとも私の父の家に好意を施してくれるとエホバに誓って確かな兆候を私にください．そして私の親と兄弟姉妹と彼らに属したすべての人を生かして下さって死で私たちの命を救ってください．” するとその二人の斥候がラハブに約束しました．

ヨシュア記，２：１７～２１ “あなたがわれわれに誓わせたこの誓いについて、われわれは罪を犯しません。われわれがこの地に討ち入る時、わたしたちをつりおろした窓に、この赤い糸のひもを結びつけ、またあなたの父母、兄弟、およびあなたの父の家族をみなあなたの家に集めなさい。ひとりでも家の戸口から外へ出て、血を流されることがあれば、その責めはその人自身のこうべに帰すでしょう。われわれに罪はありません。しかしあなたの家の中にいる人に手をかけて血を流すことがあれば、その責めはわれわれのこうべに帰すでしょう。またあなたが、われわれのこのことを他に漏らすならば、あなたがわれわれに誓わせた誓いについては、われわれに罪はありません」。ラハブは言った、「あなたがたの仰せのとおりにいたしましょう」。こうして彼らを送り出したので、彼らは去った。そして彼女は赤いひもを窓に結んだ。”

ラハブは斥候たちが城を脱出するように手伝ってくれました．何日が経ってヨシュアは民たちを導いてヨダン川を渡りました．そしてジェリコ平地に陣を張りました．ジェリコの王は城門を固く閉めるようにして人々の出入りを禁止させました．一方ラハブは親と男女兄弟と甥たちを皆自分の家で呼び起こしまし

イスラエル人々は六日の間ジェリコ城を一回りずつ回ったし七日目になる日は七回に回る時ラッパ音とともに喊声を上げました．その瞬間ジェリコ城が崩れ始めました．あっという間に城壁は阿修羅場になりました．ところで不思議にもラハブの家があった所の城壁は崩れなかったです．ヨシュアがその地を探った二人に指示しました．“遊女ラハブの家に入ってあなたがたがその女人に誓ったとおり彼と彼に属したすべてのものを導き出して保護しなさい．” 二人が直ちに駆け付けてラハブとその親とその兄弟と彼に属したすべてのものを導き出してイスラエルの外に残しました．それからはジェリコ城を燃やしました．私たちはここでラハブの信仰がどんな性格を持った信仰なのかを分かります．本文にこんなに記録されました．**ヘブル人への手紙，11：３１“信仰によって、遊女ラハブは、探りにきた者たちをおだやかに迎えたので、不従順な者どもと一緒に滅びることはなかった。”**．

ラハブが斥候に好意を施した理由と根拠は信仰だったしこれを分析すれば次の通りです．第一，ラハブはエホバ神様に対する正確な知識を持ちました．第二，ラハブは彼が得た知識を信仰で発展させました．第三，ラハブは信仰を行動で移しました．ラハブは斥候を保護したし斥候が指示したとおり窓に赤いひもを結びました．そして自分の親と兄弟たちとその家族を皆呼び起こして救いを得るようにしました．ラハブは異邦人で 卑賤な職業を持った女人です．それなのにジェリコ城の陥落に関する記録でイスラエルの指導者ヨシュアとともに信仰で行った人の見習うことに登載されました．救いは血統や身分ではなく信仰で得るようになります．聖書に啓示された救世主を信じる信仰を持たなければなりません．

聖徒の皆さんもヨシュアと遊女ラハブのように信仰で行動することですばらしい生きて行くように願いします．